

日本工学院八王子専門学校		開講年度	2019年度（平成31年度）	科目名	建築演習3
科目基礎情報					
開設学科	建築設計科	コース名		開設期	前期
対象年次	2年次	科目区分	必修	時間数	60時間
単位数	2単位	授業形態	実習		
教科書/教材					
担当教員情報					
担当教員	真田一穂、大嶋芳人、村田祐希、永田雅敬、小池和仁、藤田大海		実務経験の有無・職種	有・建築設計	
学習目的					
建築演習では、建築を学ぶ上での姿勢を理解し、学ぶ意義や社会的立場を考え今後の学習に対する建設的な方向性を発見する事を目的とする。建築演習3では、これまで学習してきた建築的知識の補強をすると共に、自身の中期的な方向性の考察と建築表現としての発信について理解を深め、二年間の集大成として挑む卒業制作に向き合う意義を捉え、取り組むことを学習の目標とする。					
到達目標					
基本的建築知識を確認し、これから向かうべき未来を捉え、向き合い、発信する事を学習の目標とし、その上で次の3点において実行できることを到達目標とする。 ①これまでの学習成果を取りまとめ、第三者への確に自己を表現するポートフォリオを作成することができる。 ②求められる課題を的確に捉え、それに対し独自の回答を導き出し提案することができる。 ③卒業制作で取り組む内容を設定し、適切な準備をした上で初期調査を行うことができる。					
教育方法等					
授業概要	演習を主体として、体感と検証を重ねていく事で学習の効果を認識しながら進めていく。身近な寸法の把握や、立体から平面を作成したり、平面から立体を作成する事で立体把握能力を向上させる。事例や建築の成り立ちを学び、各自の作品における個性の創出を狙い、自身の案を効率的にプレゼンし、他者の作品からも学びを生み出していく。				
注意点	取り組んでいる事の目的を理解し、高い習得意識を維持すること。欠席しないことを心掛け、授業時間数4分の3以上出席しない者は、単位を認定しない。日本工学院 授業心得を守ること。				
評価方法	種別	割合	備 考		
	成果物	40%	講義内制作物から理解度を評価する。		
	レポート	40%	講義内レポートにおいて理解度及び考える力を評価する。		
	平常点	20%	積極的な授業参加を評価する		
授業計画（1回～15回）					
回	授業内容		各回の到達目標		
1回	RC造の図面表現①		RC造平面図の作図表現を理解する。		
2回	RC造の図面表現②		RC造立面図、断面図の作図表現を理解する。		
3回	自己アーカイブ①		ポートフォリオとは何か理解し構成を作成する事ができる。		
4回	自己アーカイブ②		ポートフォリオにおいて、自己の学習成果を構成できる。		
5回	自己アーカイブ③		ポートフォリオにおいて、自己の学習成果を表現できる。		
6回	コンペティション①		学生参加のコンペティション傾向を調べる事ができる。		
7回	コンペティション②		コンペティションに求められる内容を捉える事ができる。		
8回	コンペティション③		コンペティションに適したプレゼンテーションを理解できる。		
9回	コンペティション④		コンペティションに適したプレゼンテーションを制作できる。		
10回	コンペティション⑤		コンペティションに提出を行える。		
11回	発展キャリアデザイン①		中期的な自己の目的設定を考える事ができる。		
12回	発展キャリアデザイン②		中期的な自己の目標設定を考える事ができる。		
13回	卒業制作調査①		卒業制作で取り組むべきことを考察する事ができる。		
14回	卒業制作調査②		卒業制作取組における調査準備を行うことができる。		
15回	卒業制作調査③		卒業制作における調査内容をまとめる事ができる。		